

## 令和6年度 第1回国立大学法人静岡大学長選考・監察会議議事録

日 時 令和6年4月23日（火）15時55分～17時31分  
場 所 事務局4階学長応接室  
出席者 赤塚、大石、栗村、鈴木、二又、田中、山本、福田の各委員  
欠席者  
陪席者 鈴木、河島の各監事、佐藤事務局長、依藤総務部次長  
事務局 杉山総務課長、杉山総務課副課長

議事に先立ち依藤総務部次長から、本日開催された第1回経営協議会において、赤塚、大石、栗村、鈴木の各氏が本会議の学外委員として選出されたことの報告があり、議長選出までの間、副議長の山本委員に議事進行を依頼することとした。

### I 前回議事録等の確認

令和5年度第7回（令和6年3月28日開催）議事録（案）、発言録、まとめ（案）について、原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 議長の選出について

山本副議長及び事務局から、資料1により、国立大学法人静岡大学長選考・監察会議規則第4条第1項で本会議に議長及び副議長1人を置き、委員の互選により選出すること、議長は学外委員からこれまで選出されてきたことについて説明があり、審議の結果、大石委員を議長に互選した。

#### 2 学長の業績評価（最終評価）について

議長及び事務局から、資料2により、業績評価（最終評価）及び学長ヒアリングの実施方法、学長が作成する自己評価書の様式案、委員が作成する業績評価書の様式案、及び公表用の評価結果の様式案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### III 報告事項

なし。

### IV その他

#### 1 令和6年度第1回教育研究評議会における意見について（意見交換）

山本委員から、資料3により、4月17日開催の教育研究評議会において、学長選考・監察会議学内委員の選出方法、電子投票における秘密投票の保持、「単記無記名投票」から「2人以内連記無記名投票」への変更に関して、評議員から意見が出たことについて報告があり、種々意見交換を行った。

学長選考・監察会議学内委員の選出方法については、全学的な視野を持った委員を選出するという意味ではキャンパスを代表するような選出方法へ変更することを望まないという意見、現在の選出方法が全学的という視点をうまく反映していないのではないかという意見、各キャンパスから委員が選出される現在の仕組はバランスを考えたもので合理性があるという意見が出された。

電子投票については、評議員から出された不正を危惧する意見を踏まえて、投票所に電子投票のための端末を設置するようなハイブリッド方式を含めて検討しては如何かという意見があった。効率性やコストを考慮して電子投票の実施が望ましいが、懸念を踏まえた見直しを行うことを含めて、次回の会議で改めて審議することとした。

「単記無記名投票」から「2人以内連記無記名投票」への変更に関する意見については、事務局から過去の議論の経緯について説明があり、変更理由及び意向投票の目的等を再確認した。委員から、学長候補者の選考は、国立大学法人法やガバナンス・コードの要請により、意向投票ではなく、学長選考・監察会議が決定するものであること、意向投票は選挙ではないこと、意向投票の目的は、学長候補者が構成員からどの程度の信任を受けているのかを把握するためであることについて、周知徹底が必要である旨の意見があった。また、国立大学法人静岡大学学長適任候補者意向投票管理規程について、無効票の定義を見直す必要がある旨の意見があった。

## 2 令和6年度 学長選考日程について

事務局から、資料4により、令和6年度実施の学長選考日程について説明があった。

以上